

# 1 村民の行動指針

## (1) 村内での日常行動

基本は、新型コロナ対策をしながらこれまでの日常に少しでも近づけるようにしたいと考えていますが、「密閉、密集、密接」の3密を避ける工夫を、それぞれの場所や場面で考え、実施することが重要です。(詳しくは、別紙の「新型コロナウイルス感染症の基本的対策」をご覧ください。)

ア 人との間隔は2メートル、人の集まるところではマスクの着用、こまめな手洗いや手指の消毒をお願いします。

イ 買い物はなるべく空いている時間帯に距離を保ちながら、また入港日の買い物は必要な物を、手早く、店内での会話を避けて買いましょう。商店ごとに新型コロナ対策が示されていれば、それに従ってください。

ウ 飲食店では、飲食店ごとの新型コロナ対策に沿って利用しましょう。なお、換気が悪い(密閉)、混雑している(密集)、隣の席が近い(密接)場所は避けましょう。

エ 屋内でのスポーツ・文化活動は、徐々に再開を目指しますが、特に呼吸が激しくなるスポーツや音楽活動などはしばらく活動制限の継続をお願いします。なお、各サークル・グループ等においての新型コロナ対策を行ったうえでの再開案(換気や距離、活動時間、動きの制限などの配慮)があれば、施設担当者に提案してください。検討させていただきます。

オ 定期船の歓迎・見送りは必要最低限とし、密集とならないように人との距離を保ちましょう。

## (2) 上京した時、帰島した時の行動

今後、上京する機会が増えてくるかと思いますが、国内の新型コロナの感染状況を見ながら、上京する場合は、感染リスクの低い行動を心がけてください。

### ア 上京したときの行動

基本的な行動は村内の日常行動と同じと考えていますが、都道府県ごとに行動指針が出されている場合がありますので、お出かけになる地域の指針も参考にしましょう。なお、緊急事態宣言が再度発出された場合は、対象都道府県にはできる限り行かないようにしましょう。東京都が再度対象になった場合は、上京を控えるなど、より一層の配慮が必要です。

出かけた先での施設・店舗利用では、それぞれの新型コロナ対策に従いましょう。

また、これまでにクラスター(集団感染)の発生した業態の施設の利用は控えましょう。

### イ 帰島してからの行動

新型コロナに感染した場合、平均で5~6日、最大14日程度で発症するといわれています。もし感染していた場合は、感染拡大を防ぐことが大事です。

これまでは、「帰島後は竹芝出港日から14日間の不要不急の外出自粛」をお願いしてきました。

これからは、一律に不要不急の外出自粛をお願いするのではなく、上記の「(1) 村内での日常行動」を参考に、帰島から2週間の行動について、それぞれの生活や職場で自粛行動をプラスしていただけるようお願いします。

帰島後のプラスの行動例としては、

- ・日々の検温をしっかり行う。
- ・外出時だけでなく家庭でもマスクを着用する。
- ・散歩などの外出は人の少ない時間帯・場所にする。
- ・発症したときに重症化しやすいといわれる高齢者の方との接触をしばらく避ける。
- ・多くの人と接する行動は控える。

などが考えられます。

### (3) 村内に疑いを含む感染者が発生したら

医師が診察・診断を行った上での感染疑いや感染者が発生した場合には、濃厚接触者(\*2)の調査やその調査結果による自粛要請、施設の利用制限等の措置を行うこととなります。これらの措置は、状況により一部の関係者に止まる場合や村内全体に及ぶ場合が考えられますが、発信された措置に従い行動していただければと思います。

\*2 「濃厚接触者」とは、

「患者(確定例)」の感染可能期間に接触した者のうち、次の範囲に該当する者である。

- ・患者(確定例)と同居あるいは長時間の接触(車内、航空機内等を含む)があった者
- ・適切な感染防護無しに患者(確定例)を診察、看護若しくは介護していた者
- ・患者(確定例)の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- ・その他：手で触れることの出来る距離(目安として1メートル)で、必要な感染予防策なしで、「患者(確定例)」と15分以上の接触があった者(周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する)。

と定義されています。なお、小笠原村の場合、上記の「患者(確定例)」には「感染疑い例」も含めて対応することがあります。

## 2 来島者の行動指針

### (1) 来島者の皆さまへ（共通事項）

小笠原へ観光や仕事で来島される皆さまも、本土でさまざまな感染対策を実施されたり、求められたりしていると思います。小笠原村はご承知のとおり本土から24時間を要する超遠隔地であり、さらにおよそ週1便の定期船でしか本土に行くことはできません。医療体制も脆弱で、感染疑いや感染者が発生した場合は、軽症なら滞在施設での経過観察、中等症以上なら急患搬送されることになり、村内では感染拡大防止のための調査や制限が行われ、場合によっては再度経済活動が止まることも想定されます。

従って、来島される皆さまには、今までのようなお迎えができないことをご容赦いただくと共に、村内での濃厚接触者を少なくするため、以下のような行動指針に沿って、村民以上の厳しさで村内での滞在をお願いいたします。

- ア 来島前、1～2週間程度のセルフ健康チェック（検温やご自身の体調管理）と行動自粛（濃厚接触者を減らす努力など）をお願いします。体調が悪い方は、来島をあきらめる決断もお願いします。
- イ 滞在期間中に必要なマスクや消毒液などはなるべくご持参ください。
- ウ 定期船への乗船にあたっては、定期船内の新型コロナ対策に従いつつ、自らもより一層の3密を避ける行動をお願いします。
- エ 入港日の午後は、生活物資を求める村民で商店が混雑しますので、その時間帯の買い物は控えていただくようお願いします。
- オ 宿泊先でも、宿ごとの新型コロナ対策に従っていただき、外食されるときの飲食店利用では特に距離を確保し、少人数利用とし、長時間の利用を控えていただくようお願いします。
- カ 小笠原の風物詩である島を離れるときの見送りをご覧いただく場合、人との間隔を保つようお願いします。
- キ 村内での活動履歴を記録しておいていただき、帰宅後に発症した場合は、村内での感染拡大の防止のために、保健所による調査の際には情報提供をお願いします。

### (2) 観光客の皆さんへ

- ア ガイドツアー等に参加される方や観光施設を利用される方は、それぞれの新型コロナ対策に従った行動をお願いします。
- イ 特に、屋内展示施設の利用の際は、他の方との距離を保ち、マスクの着用をお願いします。

### (3) 仕事（研究を含む）関係の皆さんへ

- ア 村内に関係者がいる方々は、関係者との接触を極力避けた行動をお願いします。
- イ 竹芝乗船日から14日以内は、宿泊場所と用務場所との往復に努めていただき、外出はあまり人のいない時間帯や場所に限りいただくようお願いします。
- ウ それぞれの業種や会社の新型コロナ対策ガイドラインがあれば、それに

従ってください。

以上、行動指針としてまとめましたが、新型コロナウイルスとの長期戦を前提とした「新しい日常」は始まったばかりです。この指針も随時修正・追加したいと考えています。皆様のご協力をお願いいたします。

問い合わせ等：小笠原村総務課